

学校学習創造支援プロジェクト委員会

平成20年度 JBDFはじめてのボールルームダンス(社交ダンス)

指導者養成講習会～(独)国立青少年教育振興基金(子ども夢基金)助成事業

第1期講習会・長崎

平成20年8月30日(土)・31日(日) / 長崎市平和会館

第1期最後の講習会は、長崎市で行われました。参加者は学校の先生と地域指導員など20名。学校学習とボールルームダンスについて佐伯年詩雄先生(平成国際大学教授・筑波大学名誉教授)が、社会やライフスタイルの変化を見据えた視点で講義。質疑応答の後、実技講習に移りました。

プロジェクト委員会の松村有希子先生(委員長)、村澤武志先生の指導でブルース、ジルバ、チャチャチャ、ワルツを研修しました。

参加者の声(講習員アンケートより)

私の専門は武道(柔道)ですが、現代の子どもたちに必要な礼法・作法

第2期講習会・東京

平成20年11月29日(土)・30日(日) / 中央区立総合スポーツセンター

東京での第2期講習会には、関東近県はもとより青森、熊本、そして韓国と、50名が参加。佐伯年詩雄先生の講義の後、タンゴ、ジルバ、サンバ、クイックステップの実技講習が

を教えることと、グローバル社会で人とかかわりの中で、これから必要になってくるダンスを教えることが、これからの学校に求められることなのだなと感じました。楽しいと思わせる授業を目指し、指導していただけると思います。私自身も生涯学習の時間をどうデザインしていくか考えてみようと思いました。ありがとうございました。



→佐伯先生



行われました。

この日の講師は、松村有希子委員長はじめ、堀口宏、堀口さと子、島輝子、村田恭子の5氏。準備体操で体をほぐしてから、松村先生のリ

ズム講習がスタート。ダンスに多い3拍子と4拍子のリズムを、ホワイトボードに張られた音符を示しながら説明。音楽を聴きながら手をたたき、足踏みでリズムをとります。カウントやアクセントはいいやすい言葉にして、何度も動きを繰り返すうちに、目に見えて受講生の動きが良くなってきました。

2日目の実技講習後は、今回が

初の試みとなるダンスパーティーの「模擬授業」。堀口宏先生の指導でダンスタイムと班ごとの演技発表に挑戦。そこは学校の先生、何を発表するか集まって相談すると、短時間の練習にもかかわらず、各班それぞれがアイデアを盛り込んだ演技を披露。この模擬授業はダンス授業への具体的なイメージづくりに、大きな成果をあげそうです。

→第1期講習に続いて参加したシェリー・コーンさん(写真右)は日本と英国でダンスを学んだ韓国のプロ教師。「円高で急に飛行機代が高くなってしまいましたが、この講習会はそれ以上のものが学べます。今回は初心者への指導について考える、いい材料をたくさんいただきました。この講習ですっかり松村先生(左)のファンに



↑まず準備体操



↑まずリズムの講習からスタート

何か面白いものをやりましょう



↑和気あいあいのなかで班ごとに演技発表

